

法藏館書店ニュース 9月

目次

話題の本	P1
法藏館新刊案内	P2~5
法藏館刊行予定案内	P6
法藏館書店新着案内	P6~15

特集1:夏バテ解消!食欲の秋☆	P16~17
特集2:2026年 法語カレンダー	P18
お知らせ	P19
法藏館書店ベスト10・ メール配信サービスご案内	P20

★お知らせ★9、10月の書店休業日

9月のお休み: 7日・14日・21日・28日

10月のお休み: 5日・12日・19日・26日

話題の本

●京都新聞 (2025/8/7)

法藏館文庫

『改訂 祇園祭と戦国京都』

河内将芳著・文庫判・280頁・1,100円
ISBN: 978-4-8318-2624-4

法藏館文庫

『増訂 京都地蔵盆の歴史』

村上紀夫著・文庫判・304頁・1,320円
ISBN: 978-4-8318-2701-2

●月刊住職 8月号 (2025/8/1)

●中日新聞 [朝刊] (2025/7/20)

『統一教会・現役二世信者たちの声
一壁の向こうの言葉を聴く』

瓜生 崇著・四六判・244頁・1,980円
ISBN: 978-4-8318-5729-3

●日本歴史 8月号 (2025/8/1)

『近代日本の思想変動と浄土真宗
一教化・連帯・転向』

佐々木政文著・A5判・418頁・7,150円
ISBN: 978-4-8318-5579-4

●毎日新聞 [朝刊] (2025/7/26)

『仁左衛門花実抄』

宮辻政夫著・四六判・240頁・2,750円
ISBN: 978-4-8318-5657-9

●中外日報 (2025/7/25)

法藏館文庫

『能に憑かれた権力者 一秀吉能楽愛好記』

天野文雄著・文庫判・392頁・1,650円
ISBN: 978-4-8318-2694-7

●仏教タイムス (2025/7/24・31合併号)

『森岡清美の宗教社会学
一その検証と継承』

大谷栄一・寺田喜朗編
四六判・348頁・3,520円
ISBN: 978-4-8318-5728-6

●ちえうみPlus (2025/7/23)

『近代仏教儀礼論序説』

武井謙悟著・A5判・480頁・6,050円
ISBN: 978-4-8318-5575-6

●日本史研究 第755号 (2025/7/20)

『都市祭礼と中世京都
一表象と実像』

河内将芳著・A5判・368頁・4,950円
ISBN: 978-4-8318-6287-7

●中外日報 (2025/7/18)

『評伝・富田敦純』

星野英紀著・四六判・128頁・1,320円
ISBN: 978-4-8318-5589-3

●日本仏教教育学研究 第33号 (2025/3/31)

●教育哲学研究 第130号 (2024/11/1)

『近代教育学と浄土真宗
一人間・教育・宗教の根本問題を問う
浄土真宗的教育人間学』

川村覚昭著・A5判・301頁・7,700円
ISBN: 978-4-8318-5582-4

法蔵館文庫

◆催眠術の日本近代

【文化史／近代】

一柳廣孝著・文庫判・272頁・1,210円・ISBN:978-4-8318-2707-4

明治日本を席卷した「催眠術ブーム」。知と欲望が渦巻いたその盛衰をたどり、日本近代史の知られざる横顔を鮮やかに描き出す！

■目次

- I 催眠術の登場——合理と非合理のはざまで
 - II 催眠術ブームの背景
 - III 変質する催眠術
 - IV 霊術の時代
- おわりに——世紀末と現代日本

ためし読み



◆真言密教の精髓

【仏教／真言宗】

那須政隆著、福田亮成解説・文庫判・224頁・1,210円
ISBN:978-4-8318-2708-1

主体的な立場から密教理解を展開し、近代的再構築を果たした那須政隆。戦後から後年に至るまで、著者の一貫性があらわれ出る三篇を新編集し文庫化。

■目次

- I 真言密教の精髓
 - II 真言道を往く
 - III 本覚より帰命へ
- 解説 福田亮成

ためし読み



◆極楽浄土の起源

【仏教／美術史】

——祖型としてのターク・イ・ブスターン洞

杉山二郎著、入澤 崇解説・文庫判・296頁・1,430円
ISBN:978-4-8318-2709-8

ササン朝ペルシア時代の王の楽園泉地の遺跡に表れたモチーフを画像学、比較文明論の視点から考究して地獄・極楽のイメージを探る。

■目次

- I はじめに
- II イラン風土の地獄と極楽
- III ターク・イ・ブスターン洞
- IV 楽土とは何か ほか

ためし読み



◆ひとりふたり・・——報恩講を迎える

【真宗／仏教】

ためし読み



四衢 亮編・A5判・24頁・136円

※30部以上は1部110円、100冊以上はさらに送料無料

身近な話題から仏教・真宗の教えにふれる聞法誌。

定期購読
受付中!

定期購読をお申込みいただくと……

優先的にいち早くお届け! 買い忘れなく安心です!

詳しくは、法蔵館書店まで。



《目次》

- ◎いのちの言葉 チンパンジーを見て人間について考える …… 平田 聡
- ◎お寺de掲示板
臨終まつことなし 来迎たのむことなし 信心のさだまるとき
往生またさだまなり …… 小林尚樹
- ◎はてな仏教用語 如是 …… 木村宣彰
- ◎真宗のしきたりの不思議 お墓にお水をかけるのは …… 松本智量
- ◎おうちで精進料理(秋) かぼちゃのごま味噌和え …… 西川玄房
- ◎カンタン英語で浄土真宗入門 英語で和讃に親しむ …… 大來尚順
- ◎お寺でヨーガ
リハビリヨーガー健やかな身体を保つ技一 …… Yai
- ◎このお経ってどんな意味? 讃仏偈(嘆仏偈)⑧ …… 三浦真証



◆戦国末期 三河・尾張の戦乱と水野信元

【戦国史／日本史】

砂川 博著・A5判・378頁・8,800円・ISBN: 978-4-8318-7799-4

戦国末期の尾張と三河の境目の領主・水野信元について、限られた史料を駆使し、複雑な軍事・政治情勢を俯瞰しつつ、その動静を探る。

■目次

- 第一章 天正十三年の水野信元の立ち位置
- 第二章 松平広忠と於大の離縁
- 第三章 松平信孝の追放
- 第四章 今川義元の三河侵攻と松平信孝
- 第五章 織田信秀と松平広忠の抗争 ほか

ためし読み



◆インド仏教における「二つの真理」

【インド仏教】

——ジュニャーナガルバ著『二諦分別論』の和訳

赤羽 律著、西山 亮・林 玄海編・A5判・176頁・4,950円
ISBN:978-4-8318-5735-4

「真理は一つではなく、二つある」という理論によって導かれる境地は如何なるものか。仏教哲学の最高峰が今ペールを脱ぐ。

■目次

『二諦分別論』訳注

I 序 論

II 勝義諦

III 世俗諦

IV 業と果報

V 一切法無自性性

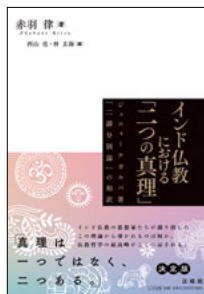
VI 仏身論

VII 結 論

VIII 廻向偈

跋 文 ほか

ためし読み



◆ウェルディング(死への旅路)の臨床社会学

【宗教／社会】

——生老病死と宗教

櫻井義秀・横山聖美編・A5判・352頁・4,950円
ISBN:978-4-8318-5734-7

高齢多死社会を迎えた日本において、「よく生き、よく死ぬ」ことを支えるケアの実践と宗教の役割を臨床社会学の視点から描き出す。

■目次

第1章 サードエイジャーの死生観と仏教の役割 [櫻井義秀]

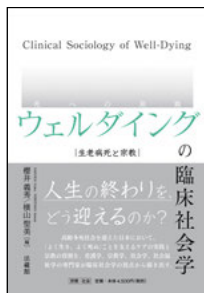
第2章 資格化する看取りとグリーフケア [横山聖美]

第3章 中国高齢僧侶の病いと困窮 [翁 康健]

第4章 互助で歩む老年期の信仰生活 [川又俊則]

第5章 「家庭の医療」 [道信良子・佐藤弘太郎] ほか

ためし読み



◆続高僧伝とアジアの仏教文化

【仏教／歴史】

——名取新宮寺一切経本の調査から

齋藤智寛・新宮寺本『続高僧伝』研究会編・四六判・364頁・4,950円
ISBN:978-4-8318-5733-0

6～7世紀の中国仏教の重要史料『続高僧伝』。鎌倉中期書写の新宮寺一切経本の調査を通して、一切経、仏教史研究に新局面を拓く。

■目次

【第1部】新宮寺本『続高僧伝』調査から

【第2部】『続高僧伝』と道宣

【第3部】アジアにおける『続高僧伝』とその展開

【第4部】附 録 ほか

ためし読み



◆改訂版 親鸞の成仏道

【真宗／仏教】

——「証」の二重性と「真実証」

小川一乗著・A5判・250頁・6,600円・ISBN:978-4-8318-7941-7

釈尊の覚りと、親鸞の真実証はどのような関係にあるのか。
覚りの本質を具体的に明らかにする本格的な論考。

■目次

はじめに——念仏と成仏——

序 章 釈尊における「証」について

第一章 証の二重性

第二章 必至滅度の願

第三章 煩惱成就の凡夫・生死罪濁の群萌

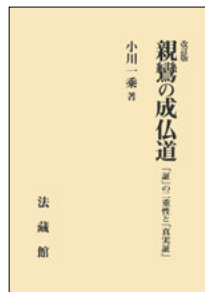
第四章 往相回向の心行

第五章 還相回向

結章 「証」についての決判

おわりに——往生と浄土——

ためし読み



◆蓮如教団論

【日本史／真宗史】

金龍 静著・A5判・740頁・15,400円・ISBN:978-4-8318-7792-5

蓮如から顕如までの各宗主の事跡を軸に、戦国期本願寺教団の歴史と実像を、組織構造や法物類などの視点も交えて多角的に描き出す。多年にわたる研究の集大成。

■目次

序 論 中世一向宗の善知識観

■本論編 戦国期歴代宗主の事跡

第一章 蓮如の事跡——本願寺教団の形成

第二章 実如の事跡——本願寺教団の実体化

第三章 証如の事跡——戦国期教団の確立

第四章 顕如の事跡——石山合戦

第五章 東西分派から近世教団へ

■各論編

■結論編 ほか

ためし読み



◆独語集 [校訂版]

【真宗／仏教】

蜂屋賢喜代著・四六判・85頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-8810-5

大正から昭和にかけて伝道布教に生涯を捧げた真宗僧侶が、日常で思い感じたことを書きとめた独白集。自らを深く省みる「内観」という営みについて、38のエピソードから、具体的かつ丁寧に掘り下げる。時代を超えて全ての人に語りかける珠玉の名著、待望の復刊。

ためし読み



法蔵館刊行予定案内

〈2025年10月 刊行予定〉

◆安芸厳島社

法蔵館文庫

【日本史／神道】

松岡久人著、秋山伸隆解説・文庫判・予320頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2710-4

世界遺産・日本三景の一つ安芸の宮島の厳島神社。原始から中世末に至るまでの奥深い歴史・文化を詳細に考察。厳島を深く知るための必読の書。

◆千のことは、一つのころ——薬師寺と土がつなぐ縁

加藤朝胤著・四六判・132頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-5736-1

【仏教】

ご縁につながり、伝統を護り伝える。薬師寺管主がつむいできた千文字法話から薬師寺についてもっと詳しくなれるお話を一書に。またご縁のある陶芸家五名との対談を収録。

◆生きる ただ生きる それで良し

大塚日正著・四六判・240頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-5739-2

【仏教／日蓮宗】

この世に一人しかいない「自分」が、生きている！ それだけで、すごいことなのです！ 法華宗の管長をつとめた最高位の僧による、「生きる勇氣」をもらえるメッセージ集。

◆唐代宗教思想史研究

坂内榮夫著・A5判・456頁・8,800円・ISBN:978-4-8318-5742-2

【中国思想】

修心思想や内丹論などの唐代道教研究の未開拓分野を切り開き、文献に対する緻密な考証を通じて仏教と道教が互いに影響し合い展開してきた宗教思想の情景を照らし出す。

法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 9月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・440円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎巻頭インタビュー 五味太郎（絵本作家）

人間って何もわかっていないからね。そういう安心感があるよ。

◎特集：ZINE

——誰にも頼まれていないけど作りたい私のメディア

●唯信鈔文意を読む——唯念仏のころ／山田恵文

●出会いの真実——嘆仏偈を読む／宮下晴輝 ほか

◆大乘 9月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・DAIJO法話「あの言葉のおかげ」……西村慶哉

・ご機言！お寺の掲示板……江田智昭

・結婚してお坊さんになりました「どこにおっても」……前田純代

・なるほど仏教ライフ「ただの回想でなく」……星 顕雄

・つながる医療と仏教……森田眞照 ほか

法蔵館書店新着案内

集英社新書1270A

◆世界を動かす巨人たち〈宗教家編〉

池上 彰著・新書判・237頁・1,144円〈集英社〉

主人公は、超大国の政治家やウォール街の大富豪以上に人々を動員する力をもつ宗教指導者たち。彼らの素顔と行動原理を知らずして、危機に晒された国際政治を展望することは不可能だろう。本書で取り上げる6人のカリスマの向こう側に、私たちはどのような未来を思い描くことができるだろうか？ 人類の存亡は、カリスマたちの動向にかかっている――！

■目次

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 序章 宗教は世界をどう動かしてきたのか | 第四章 アクンザダ師 |
| 第一章 教皇フランシスコ | 第五章 フランクリン・グラハム |
| 第二章 キリル総主教 | 第六章 ダライ・ラマー四世 |
| 第三章 ハメネイ師 | |



◆ぜんぶ絵でわかる世界の宗教事典

正木 晃著・A5判・190頁・2,420円〈エクスナレッジ〉

キリスト教、イスラム教、仏教、神道、ユダヤ教といった宗教だけではなく、世界の神話まで、豊富なイラストでやさしく解説します。仕事上のコミュニケーションを円滑に進めたい方も、創作活動における歴史背景の知識を求める方も、これからの多様な時代を生き抜くために必要な正しい知識が、この一冊で楽しく身に付きます。

■目次

- | | |
|-----------|----------------|
| 第1章 キリスト教 | 第4章 東アジアの宗教と思想 |
| 第2章 仏教 | 第5章 世界の様々な宗教 |
| 第3章 イスラム教 | 第6章 世界の神話 |



◆日本史を宗教で読みなおす

大西信行・佐藤雄基編・四六判・221頁・2,200円〈山川出版社〉

学校教育で習う宗教のあり方とは!? アニミズム、神仏習合、鎌倉新仏教、国家神道、キリスト教、景教、イスラム教etc.....日本史をメインに世界史・公民も含めた教科書記述を取り上げつつ、宗教に関する議論の最前線を紹介。歴史を通じて宗教を捉えなおし、宗教への理解をアップデートできる一冊。

■目次

- | |
|--------------|
| 第1部 日本宗教史の現在 |
| 第2部 社会科の中の宗教 |
| 第3部 教室で語る宗教 |



◆日本の仏教史年表——仏教1500年の流れが劇的にわかる

山折哲雄監修、大角 修著、地人館編・A5判・239頁・1,870円〈朝日新聞出版〉

日本に仏教が伝来した6世紀から、鎌倉新仏教の誕生、近現代における宗教史まで。日本史を語る上で欠かせない仏教の変遷を、年表をメインに豊富な資料と共に時系列で徹底解説します。歴史だけでなく、文化や建築学などの視点でも仏教をひもときます。



■目次

日本仏教10大ポイント

時代別に見る仏像年表

第1章 飛鳥・奈良時代

第2章 平安時代

第3章 鎌倉時代

第4章 室町・安土桃山時代

第5章 江戸時代

第6章 近現代

◆日本の仏教を読み直す 空海・道元・親鸞

——インド・チベットの伝統を踏まえて

吉村 均著・四六判・159頁・2,200円〈北樹出版〉

日本と同様密教の盛んなチベットの仏教が世界の関心を持たれている今、インドやチベットに残る伝統的な仏教理解や学習法を踏まえて、日本の高僧の教えを読み直し、高僧がたが何を説こうとしたかについて光を当てる試みです。

■目次

一章 インドにおける仏教の誕生と展開

二章 空海と密教

三章 道元と坐禅

四章 親鸞と浄土信仰



◆誰もが行きたくなるお寺33実践集

——いまからの寺院コンセプト

遠藤卓也著・四六判・251頁・2,530円〈興山舎〉

お寺をいかにして未来に繋いでいけばいいか奮闘する33カ寺に学ぶ。全国各地のお寺の経営と場づくりに10年以上携わってきた著者が、今後人々に求められるお寺とは何か実践と共に解説！ 地域の人々も企業家も必見の価値大！

■目次

第1部 お寺の取り組みが地域を明るく照らす〈実践20〉

第2部 僧侶・寺族の活動が人々を元気にする〈実践13〉

第3部 現在のお寺を取り巻く環境とこれからの指針



◆お経の意味がやさしくわかる本

——各宗派の「経」は、どんな教えを説いているか

鈴木永城著・四六判・191頁・1,793円〈河出書房新社〉

一般の人が比較的耳にする機会が多い代表的なお経をよりぬき、「これ以上やさしくならない」ぐらいわかりやすく解説。仏の教えと知恵を平易に理解し、現代生活に生かすためのヒントを教授！ ＊本書は2020年7月に刊行されたKAWADE夢新書『お経の意味がやさしくわかる本』を単行本化したものです。

■目次

プロローグ：お経とは何か	法華経(2)
念仏・題目の意味	観音経
般若心経	理趣経
阿弥陀経	正信偈
法華経(1)	修証義



◆図解 般若心経がよくわかる本

玄奘宗久監修、田中ひろみ・田中律子イラスト・A5判・198頁・1,650円〈リベラル社〉

『般若心経』は漢字ばかりで難しいイメージを持たれがちですが、本書では身近な例えを用いてわかりやすく解説。教えを理解すると、欲や煩惱から解放され、ありのままの自分でいられるようになります。監修はテレビやラジオ、YouTubeでも積極的に活動している玄奘宗久和尚です。芥川賞をはじめ、数々の文学賞を受賞した作家でもあります。カバーイラストは仏像イラストレーターとして活躍する田中ひろみ氏が担当です。細密かつ味わいのあるイラストが彩ります。

■目次

第1章 『般若心経』とはどのようなものか
第2章 『般若心経』が成立するまで
第3章 262文字が表す大宇宙
第4章 小本の意味を理解する
第5章 読経・写経をする



◆お手本をなぞって

書いて学ぶ親鸞のことば 歎異抄

鶴見 晃 著・B5判・55頁・660円〈東本願寺出版〉

親鸞の弟子、唯円が師の言葉を聞き、書き残した『歎異抄』。その要となる金言をペンでなぞり、読み、学べるテキスト。平易な現代語訳、仏教語の注、読み解きのためのコラム付き。



◆教行信証化身土巻講義

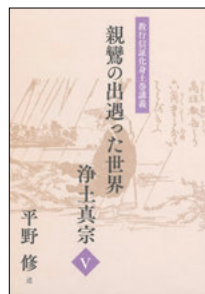
親鸞の出遇った世界——浄土真宗V

平野 修述「平野修師講義集」編集実行委員会編・A5判・355頁・2,530円〈真宗大谷派大阪教務所〉

大阪教区教学研修院の基調講義として8年間、全46回にわたり行われた「化身土巻講義」を全5巻にわけて収録。「化身土巻」の内容から、仏教の歴史、親鸞聖人のみ教えを徹底的に俯瞰し、私たち自身に問いを投げかける平野修師の思想の集大成とも言える書。第5巻は第38講から第46講を収録。

■目次

- 第38講 善知識論
第39講 信不具足
第40講 真実第一の善知識としての仏
第41講 仏言としての南無阿弥陀仏 ほか



◆鏡如上人(大谷光瑞)及び籌子裏方年譜

赤松徹眞編・B5判・481頁・15,400円〈永田文昌堂〉

本願寺教団の近代史と軌を一にしながら管長・宗主として多角的な視野と構想を持って教団を統率・運営し、退任後にはアジアでの諸事業に着手・構想し、内閣顧問などにも就任した鏡如上人(大谷光瑞)と、総裁として各地の仏教婦人会の結成や活動に尽力した籌子裏方の事績を年譜として編纂。

■目次

- 口絵
はじめに
凡例
鏡如上人(大谷光瑞)及び籌子裏方年譜 ほか



◆『俱舍論』とその諸註釈における

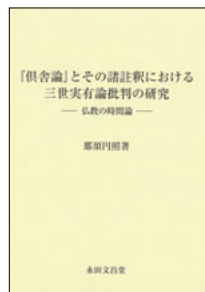
三世実有論批判の研究——仏教の時間論

那須円照著・A5判・429頁・12,100円〈永田文昌堂〉

アビダルマ仏教の最盛期の学説綱要書である世親Vasubandhu(ヴァスバンドウ)著『俱舍論』(Abhidharmakosabhasya (AKBh))とそのインドの諸註釈書の中の「随眠品」(anusayanirdesa)における有部の三世実有論の紹介とそれに対する経量部の立場からの批判について論じた箇所を和訳・解説したものです。

■目次

- 解説
『俱舍論』(AKBh) 和訳
AKBh和訳註
AKBh:Skt.Text
AKBh:Skt.Text註
AKBh:Tib.訳Text
AKBh:Tib.訳Text註
AKBh玄奘訳Text ほか



◆日本古代仏教の展開

——その地方受容に関する諸相

寺西貞弘著・A5判・356頁・13,200円〈塙書房〉

白鳳期になってなぜ仏教が全国的に広まったのか。仏教が地方社会に受け入れられた要因を明らかにし、仏教伝来から国家仏教への展開を論じる。

■目次

- 第一部 日本古代仏教受容期の諸相
- 第二部 日本古代仏教地方普及期の諸相
- 第三部 国家仏教と地方の
- 終章 日本古代仏教の歴史的展開



◆近世仏教資料叢書——第4巻 唱導文学と商業出版

末木文美士・引野亨輔監修、万波寿子編・A5判・292頁・22,000円〈臨川書店〉

仏教と近世社会の関係性をも鮮明に浮かび上がらせることを企図した本叢書は、この時代の宗教文化の解明に新しい光を当てるものと期待される。第四巻では、勸化本の代表的作者で、「南溟」と称する人物たちによる著作を収録。

■目次

解説 唱導文学と商業出版 [万波寿子]

解題

翻刻篇

凡例

説法和歌資譚鈔 名古屋大学附属図書館(神宮皇学館文庫)蔵

説法語圖批評 卷五(抄) 大谷大学図書館蔵 ほか



◆どこかの遠い友に——船城稔美詩集

船城稔美著、木村哲也編・四六判・261頁・1,980円〈柏書房〉

全国のハンセン病療養所入所者73名による合同詩集『いのちの芽』が70年ぶりに復刊された。そこには、船城稔美の詩も5篇収められている。船城は15歳で入所してすぐ、大人たちにまじって園内誌に詩を79歳で亡くなる前年まで、書き続けた。2023年、国立ハンセン病資料館企画展が開催され、船城にかんする重要な事実が指摘された。それは船城が、性的マイノリティだったのではないか、というものだった。

■目次

想い

別れた人

雪の夜

五月 ほか



◆空海と華嚴思想

竹村牧男著・四六判・457頁・5,280円〈春秋社〉

空海が密教に次いで評価した華嚴の思想は、教主や世界観などで共通点も多い。仏身・言語観・世界観・成仏観・慈悲の観点から教理上の比較研究をした第一部と代表作『十住心論』第九極無自性住心を逐文解説した第二部からなる空海思想にさらに踏み込んだ大著。

■目次

- 第一部 空海と華嚴教学
- 第一章 別教一乗と九顕十密
- 第二章 十身仏と四種法身
- 第三章 果分不可説と果分可説 ほか



◆密教法具に学ぶ 新装版——付 読経の精神と功德

今井幹雄著・四六判・225頁・3,300円〈東方出版〉

加持の法具である密教法具は、衆生（＝行者）の即身成仏を助けるための如来大悲の象徴である。密教法具にこめられた意義と作用を、主に在家の人びとを対象に詳細に解説。併せて読経の大切さについても平明に説く。口絵カラー一葉。

■目次

- I 修法道場は荘厳された生命の世界
- II 密教法具に秘められている加持の真理
- III 加持の法力を象徴するもの
- 付 読経の精神と功德



ちくま学芸文庫モ-23-1

◆マンダラの密教儀礼

森 雅秀著・文庫判・314頁・1,650円〈筑摩書房〉

インド・チベット密教や日本密教の世界観が凝縮されたマンダラ。日本には主に掛図の形で伝えられたため、神秘的な美術品として鑑賞されがちだが、本来それは、宗教儀礼のなかで具体的に用いられてきたものである。数々のマンダラ作品やサンスクリット文献を軸に、密教儀礼の核心に迫る。仏教図像学の第一人者による貴重な書。

■目次

- 第1章 マンダラとは何か
- 第2章 インドの宗教儀礼
- 第3章 マンダラをつくる
- 第4章 マンダラの図像学
- 第5章 聖別の儀礼



◆【増補改訂】空海に出会った精神科医

——その生き方・死に方に現代を問う

保坂 隆著・四六判・267頁・2,420円〈大法輪閣〉

がん患者さんをみる精神腫瘍科を専攻する入り口で「死生観」の壁にぶつかった精神科医の著者は、59歳で仏教系の大学院に入学した。そこで出会った「空海」に魅了された著者は、「現代の諸問題は空海の目にはどう映るのか？」を自問自答してみた。平成29年初版の増補改訂版。

■目次

はじめに一空海との出会い

第1章 子供は愛情をもって育てるもの

第2章 思春期は悩むもの

第3章 青年期は夢を持つもの ほか



ちくま新書1866

◆賽の河原——供養の宗教学

村上 晶著・新書判・252頁・1,012円〈筑摩書房〉

日本では、亡くなった子どもの行先として、独自の「賽の河原」が考えられた。著者は、10年以上にわたって、死者の口寄せなどで知られる津軽地方の「シャーマン」たちの調査をしてきた。本書は、「和製の地獄」とも言われる賽の河原を中心に、日本の供養を考えるものである。

■目次

第1章 口寄せとは何か

第2章 供養と賽の河原

第3章 津軽の地蔵と川倉賽の河原の祭り

第4章 あの世で成長する子ども ほか



◆新興宗教ぶっちゃけ話——入信したら、こうなった。

多田文明著・四六判・252頁・1,760円〈清談社Publico〉

ベストセラー『ついていったらこうなった』著者が、信者時代の実体験をカミングアウト！ 誰も書けなかった旧統一教会のリアル！ ついフラフラついていってから、信者としての過酷な活動、そこで出会った信者たちの本音、脱会後の「宗教2世」の取材まで、「元信者」だから聞けた人間ドラマ。

■目次

第1章 ついていったら、こうなった。

第2章 セミナーに行ったら、こうなった。

第3章 入信したら、こうなった。

第4章 出家したら、こうなった。 ほか



◆西田哲学をめぐる宗教者たちの対話

——戦後の京都学派の行方

菅原 潤著・A5判・185頁・3,080円〈昭和堂〉

西田幾多郎の哲学をめぐる解釈は、哲学研究者のみならず宗教者も含めた多くの論者によって繰り広げられてきた。この論争から西田哲学のアクチュアリティを浮き彫りにするとともに、京都学派における大きな問題である西田哲学と田辺哲学の異同についても考察する。

■目次

- 序 章 「日本哲学史」研究が始まる前
- 第一章 「逆限定」から「逆対応」へ
- 第二章 逆対応から不可分・不可同・不可逆へ
- 第三章 キリスト教と仏教の対話 ほか



◆魂の文化史

——19世紀末から現代におけるヨーロッパと北米の言説

コク・フォン・シュトゥックラート著、熊谷哲哉訳・四六判・441頁・6,600円〈人文書院〉

知の言説と「魂」のゆくえ

いつ「魂」は学問から排除されたのか？ 現代社会で「魂」はどこにある？ 古代ギリシアや古典ロマン主義の時代から、心理学による「魂」の忘却、ヨーロッパとアメリカを往還する「魂」の軌跡を精緻に辿る、壮大で唯一無二の系譜学。

■目次

- はじめに 二〇世紀における魂の危機
- 第1部 一八七〇年から一九三〇年までの文化的言説における魂
- 第2部 ヨーロッパからアメリカ、そして再びヨーロッパへ
——一九五〇年代から現在までの魂 ほか



◆お土産の文化人類学——地域性と真正性をめぐって

鈴木美香子著・四六判・194頁・2,640円〈人文書院〉

日本における土産の歴史と現在を詳細な資料調査と、文化人類学の手法によって解き明かす。そこから見てきたのは、交通網の発展に伴った大量生産、大量消費の時代から、国策も背景とした地元でしか作れない本物性へのこだわりへの転換だった。菓子土産についての初めての学術的研究が誕生。

■目次

- 第1章 問題の所在と本論の目的
- 第2章 「新しいタイプの菓子土産」の登場
- 第3章 地域づくりから生まれる「特産品菓子土産」
- 第4章 より本物らしさが求められる菓子土産 ほか



◆子どもの生きる力を開花させる 鉢の木へ、ようこそ！

大竹 稽編著・四六判・238頁・2,750円(時潮社)

能の演目である『鉢の木』。この題材をテーマに子育てや生き方など禅寺の和尚さまたちと編者の対談集！「逆境を乗り越えるヒントがここにある」「便利に息苦しさを感じている人たちに贈る」「不安を理解し、不安を活かす指南書」。

■目次

- 1章「逆境」…足利・福厳寺 采澤良晃
- 2章「不便」…西伊豆・帰一寺 田中道源
- 3章「貧しさ」…佐野・報恩寺 伊藤賢山
- 4章「不足」…青梅・玉泉寺 北村弘喜
- 5章「憤り」…小田原・東学寺 笠玄稜 ほか



◆悲しみをご縁として——「あわせて・もらう」ということ

金石潤導著・新書判・19頁・110円(東本願寺出版)

葬儀やご法事をつとめること、その中で教えを聞くことは、私たちにとってどのような意味があるのか……？最愛の人との別れをはじめ、それぞれの仏縁に出会い、そして大切な気づきをもたらしていた人々のエピソードをとおして、「あわせて・もらう」ということを考える。

■目次

- はじめに
- 大切な人との別れ
- 大切な人の痛み
- 大切な人の願い
- おわりに



◆なごりおしくおもえども——愛別離苦を縁に

相馬 豊著・新書判・12頁・110円(東本願寺出版)

◆法語カレンダー随筆集 今日のことば(2026年版)

東本願寺出版編・新書判・83頁・121円(東本願寺出版)



◆真宗大谷派手帳(2026年版)

東本願寺出版編・148mm×96mm・715円(東本願寺出版)

特集1

夏バテ解消！食欲の

今年の夏はホントに暑すぎました。食欲も減退。まだまだ残暑は厳しいですが、秋は美味しい食べ物がたくさんあります。低下していた食欲を徐々に回復するためにまずは、おなかにやさしい精進料理を食べて食欲の秋に備えましょう🍌

◆精進ごはん—— おうちでできるレシピ108

森 かおる著・B5変判・119頁・1,430円〈東本願寺出版〉

料理家・森かおるさんによる、野菜・豆腐・乾物などを用いた精進レシピ108品を紹介。おかず、ごはん・麺、汁もの・スープ、おやつ、お弁当に、親鸞聖人の好物だったと伝わる小豆や、各地のお寺に伝わるお斎についても取り上げています。



◆尼寺「三光院」の料理長が教える はじめてのおそうざい精進

西井香春著・B5変判・128頁・1,980円〈世界文化社〉

東京・小金井の尼寺「三光院」料理長が84品をご紹介します。もともと、天皇家の皇女が門跡(住職)を務める京都の尼寺に、600年にわたって受け継がれたもので、作り方はとてもシンプルながら、優美な姿や盛り付けは女性ならではの。何よりおいしいから、日々の暮らしにもぜひ取り入れて。



◆やさしい精進料理—— ころもからだもきれいになる

西川玄房著・B5判・112頁・1,870円〈淡交社〉

日本の食卓ではむかしから“旬”をたいせつにしてきました。近年は旬という意識が薄れがちで残念なことだと永年精進料理の普及につとめてきた玄房和尚は言います。むずかしいと思われがちな精進料理もじつはかんたんで、旬の素材を無駄なく使うので、お財布にやさしい料理でもあるのです。日々の食事にすぐにとりいれることができるおいしくてからだにもやさしいレシピをご紹介します。



◆イタリアン精進レシピ

笹島保弘著・B5判・96頁・1,760円〈本願寺出版社〉

仏事における精進料理である「おとき」をイタリア料理で！どこにもないレシピ。「あったか京野菜たっぷりのミネストローネ、白味噌風味」ほか、旬の京野菜を主な素材に、目にも美味しい簡単レシピ55品を美しい写真とともに。

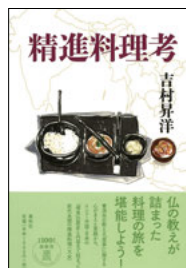




◆精進料理考

吉村昇洋著・四六判・288頁・2,090円(春秋社)

食事も修行ととらえる道元禅師の教えに沿った、つくる・食べる・片付けるまでの心がまえから、醍醐味とは何か、ごちそうさまの起源など、インド・中国における僧侶の食事の歴史まで網羅した、精進料理大全。



角川ソフィア文庫 G1-20

◆道元「赴粥飯法」

石井修道監修・文庫判・307頁・1,166円(KADOKAWA)

道元の著作の一つ、「赴粥飯法」には、仏道修行における食事の意義と作法が述べられている。禅では「さとり」の境地を、日常の営みの中に見出す。そのため、生活の要である「食」は、大事な修行の場でもあるのだ。自らを満たすだけでなく、他者へと想いを向け、心穏やかに生きていくヒントが、ここにはある。道元の意味を説き明かす、やさしい現代語訳と解説に豊富な写真資料を加え、「解題」「道元禅師の生涯」も収録した決定版。



◆阿闍梨さまの料理番

—— もっと知りたい精進料理

鳥居本幸代著・四六判・219頁・1,980円(春秋社)

お寺の料理番もつとめる著者が「なぜお寺の朝食はお粥なのか?」「中世の〇〇はおもてなし料理だった」などなど、気になるエピソードとともに精進料理の基本や歴史を食材ごとに楽しく説く。

日本人の体のみならず精神、文化をかたちづけてきた「食」の深みを味わう精進料理の入門書。



◆古代寺院の食を再現する

—— 西大寺では何を食べていたのか

三舟隆之・馬場 基編・A5判・222頁・3,520円(吉川弘文館)

平城京最後の大寺院西大寺。古代の食堂院(じきどういん)跡を発掘すると、巨大な井戸や整然と並ぶ大型の須恵器甕、膨大な製塩土器、魚や動物の骨、植物の種など、食に関する驚くべき遺構や遺物が見つかった。魚肉は食べないとされていた寺院の食事の定説に再考を提起し、未解明の課題に挑む。



特集2 2026年法語カレンダー

来年のカレンダーが出来上がりました。「え～?!まだ暑いのにカレンダー??」と言わず、早めのご準備よろしくお願いします。

◆2026年(令和8年)ほのぼのカレンダー

お念仏のころをはぐくむ

詩:東井義雄、絵/文字:谷内正遠・150円〈法蔵館〉

教育者として、念仏者として、ひたむきな人生を歩まれた故・東井義雄先生の心あたたまるお言葉(詩)が、毎月の法語に、谷内正遠先生の木版画の絵と文字で彩る。

※ご注文は5冊から承ります。

※全国書店店頭ではご注文いただけません。

お施本に最適!

ほのぼのカレンダー法語解説書

『ころの味を大切に』

東井義雄著・31頁・110円

ほのぼのカレンダー各月の言葉に沿った、東井義雄先生のお話を収録。はじめて東井先生を読む方にもおすすめ。



※寺院名等の印刷も承ります。(有料) 詳細は法蔵館営業部 075-343-0458までお問い合わせください。

◆2026年 真宗教団連合 法語カレンダー

真宗教団連合編・176円〈真宗教団連合〉

2026年の法語カレンダーのテーマは、昨年に続き「宗祖親鸞聖人に遇う」です。親鸞聖人のみ教えにふれた先達のお言葉を通して、あらためて宗祖に出遇っていただきたいと願い、13点の法語を選定いたしました。

挿絵には、画家の内田新哉氏による水彩を用いた叙情的な風景画を掲載しております。

※2026年版より金具留めが紙製にかわりました。

法語カレンダー随想集

今日のことば 2026年版

121円〈東本願寺出版部〉

毎年発行される『法語カレンダー』のことばを身近に感じていただくための随想集



◆真宗興隆会 2026年 法語カレンダー

真宗興隆会編・176円〈真宗興隆会〉

『文類偈』(『浄土文類聚鈔』親鸞聖人より)と法語及び挿絵。

→2026年1月の見本(2026年版は8月末入荷予定。)

お知らせ

2025年度 中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店
協賛・出店

テーマ:「いのちを育てる智慧に学ぶ——ネット時代を生きるために」

第3回:9月19日(金)「しあわせ眼鏡—仏教という人生の道しるべ」

真言宗須磨寺派大本山須磨寺(神戸市)副住職・寺務長:小池陽人氏
(京都テルサ・東館2階セミナー室(地下鉄烏丸線九条駅4番出口から西へ徒歩5分))

第4回:10月3日(金)「寺の未来」

臨済宗妙心寺派大本山妙心寺(京都市)管長:山川宗玄氏
(大本山妙心寺微妙殿(JR花園(京都府)駅[出口]徒歩12分))

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社 営業企画部(宗教文化講座事務局)

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)

〒601-8004
京都府京都市南区東九条東山王町9番地
TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722
Eメール:sbk@chugainippoh.co.jp

「ほのぼのカレンダーで おなじみの東井義雄先生」

生涯を教育に捧げた“伝説の教師”であり、真宗の僧侶でもあった
東井義雄先生(1914年~1991年)は、数多くの著作を著しています。
今回は教育に関する書籍をご紹介します。教育は、教師と子どもが向かい合い
触れ合ってこそ成り立つ。その基本を徹底的に追究した教師の鑑です。

子どもの心に光を灯す

——父母と教師はいま何をなすべきか

東井義雄著・四六判・200頁・1,320円(致知出版社)

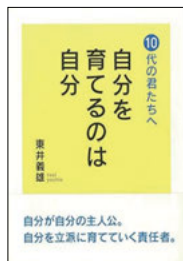
「百千の灯あらんもわれを待つ灯はひとつ」この歌には、一つでも多くの家庭
が、子どもたちをやさしく包み込むような、温かい灯を絶やさないでほしいと
いう深い祈りが込められている。子どもたちにどう向き合えばよいかと悩む父
母や教師が多い昨今、その処方箋として「教育界の国宝」と謳われた東井先
生のユーモア溢れる語り口から発せられる魂の言葉に心耳を澄ませたい。



10代の君たちへ 自分を育てるのは自分

東井義雄著・B6変判・173頁・1,320円(致知出版社)

「自分は自分の主人公 世界でただひとりの自分を創っていく責任者」
東井先生は、子どもたちに素晴らしい人生を送ってほしい、自分で自分の人
生を粗末にするようなバカな生き方をしてほしくない、という祈りのような願
いを持ち続けていた。本書を読むと、心掛けが変わり、その後の人生が変わっ
てくる。青少年児童はもちろんのこと、大人が読んでも心に深く響く。



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(8月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	東西本願寺120のちがい	鎌田宗雲	永田文昌堂	3,300円
2	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
3	教行信証化身土巻講義 親鸞の出遇った世界—浄土真宗 V	平野 修述「平野修師講義集」 編集実行委員会編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
4	亡き方の声に耳を澄ませて—僧侶30人の お盆のはなし【真宗文庫】	東本願寺出版編	東本願寺出版	935円
5	やわらか仏教—お釈迦様が教えてくれる生き方のヒント	仁部前誠 仁部前叶	青春出版社	1,980円
6	浄土真宗「道場」の四季—北陸・福井に残る真宗信仰の古層	前川仁之	宗教問題	1,870円
7	現代語訳 六要鈔 【法藏館文庫】	柳瀬彰弘	法藏館	1,650円
8	女の力—古代の女性と仏教 【法藏館文庫】	西口順子	法藏館	1,430円
9	増訂 京都地藏盆の歴史 【法藏館文庫】	村上紀夫	法藏館	1,320円
10	お布施のからくり—「お気持ち」とは いくらののか【幻冬舎新書768】	清水俊史	幻冬舎	1,034円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

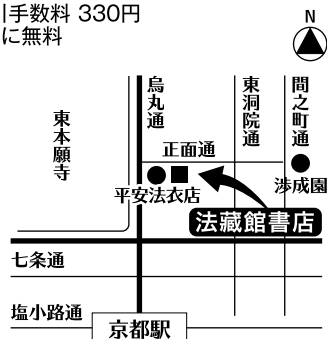
◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

電話受付時間変更のお知らせ

2025年9月1日より、お電話の受付時間を変更させていただきます。
ご不便をお掛け致しますが、ご了承賜りますようお願い致します。

9月1日～電話受付時間：平日9時～12時、13時～17時



法藏館書店

住 所：〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話：075-343-0458 FAX：075-371-0458
発行人：西村七兵衛
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



〔営業日および営業時間〕

月～土：9:30～18:00

祝 日：10:30～18:00

(休業日：毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!